

センターサイディング	工 法	下 地	張り方向	木胴縁組
	重ね張り	木造 モルタル	縦	横胴縁@500mm以下

## 1) 基本構成図・下地組図

- 水切34を胴縁に取り付けます。
- 木胴縁は、厚み18mm以上の乾燥材を使用します。
- 木胴縁の幅は45mm以上を標準サイズとし、出入隅部や上下接合部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90mm、または45mm幅2本組みとします。
- 木胴縁は留め付ける前に既存のモルタル下地の不陸状態を確認し、不陸は不陸調整材などを用いて、専用ビス(φ4.8mm×90mm)を使用して500mm以下の間隔で躯体に留め付けます。  
(不陸調整方法:P36参照)
- 下地組みは必ず通気ができるように、2000mm以下の間隔で30mm程度の隙間を設けます。
- 横胴縁と開口部まわりの胴縁は30mm程度の隙間を設け、通気する構造とします。

